

RT ロボットと共に創る未来

2011国際ロボット展 INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2011



©UDAGAWA YASUHIRO 1998

9日(水)―12日(土)
東京ビッグサイト

日本ロボット工業会と日刊工業新聞社共催の「2011国際ロボット展」が9日から12日までの4日間、東京・有明の東京ビッグサイトで開催される。隔年開催で19回目を迎える同展のテーマは「RT ロボットと共に創る未来」。国内外から272社・団体が出展する。産業用や非製造業における各種ロボット

をはじめ、応用システムと関連機器、大学・研究機関が一堂に集結し、ロボットテクノロジー(RT)に関する最新情報を発信する。入場料は1000円、学生・15人以上の団体は500円。事前登録者・招待券持参者・中学生以下は無料。開催時間は10時から17時(最終日は16時半まで)。



日本ロボット工業会
会長 稲葉 善治

ごあいさつ

「ロボットと共に創る未来」をテーマに、東京ビッグサイトに於いて11月9日から12日までの4日間、2011国際ロボット展を開催します。

利用分野の拡大と技術開発加速を

関などからの出展により、その規模は総計272社・団体の1085小間で開催いたします。

特に今回は、3月11日に発生した東日本大震災とそれに伴う福島原子力発電所事故では、わが国のみならず、世界をも揺るがす未曾有の大災害となったことで、本展の開催などから多数の団体が、震災復興支援に向けたロボット技術の今後を探ります。

また、併催企画では25の大学・研究機関における最新のロボットや技術を紹介する「RT交流プラザ」や、経済産業省による「第4回ロボット大賞」受賞ロボットの合同展示を行うほか、多くのプログラムを予定しています。

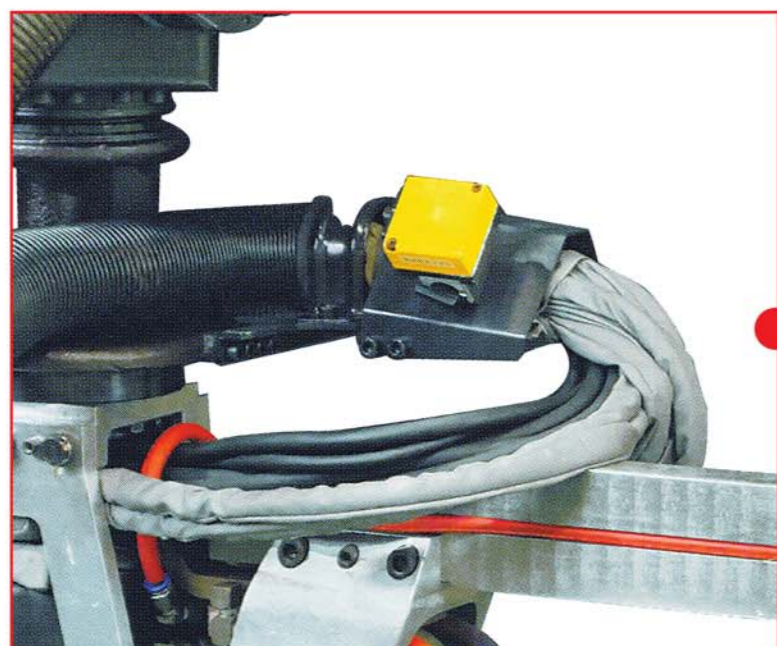
さらに併催事業として、初日に「サービスロボットビジネスマーケット2011」を開催し、「東日本大震災からの復興 医療・福祉現場の再建を支えるサービスロボット」と題した基調講演と、「東日本大震災を教訓とした災害対応ロボットのあり方」や「復興支援に向けたロボットの役割」について、現場で活動した関係者によるパネルディスカッションを行います。

2日目は、主要ロボットメーカー6社とユーザー2社による「ロボットサミット2011」を開催し、「ユーザーが求めるロボットの実現に向けて」をテーマに、産業用ロボットの用途開拓やロボット技術の今後を探ります。

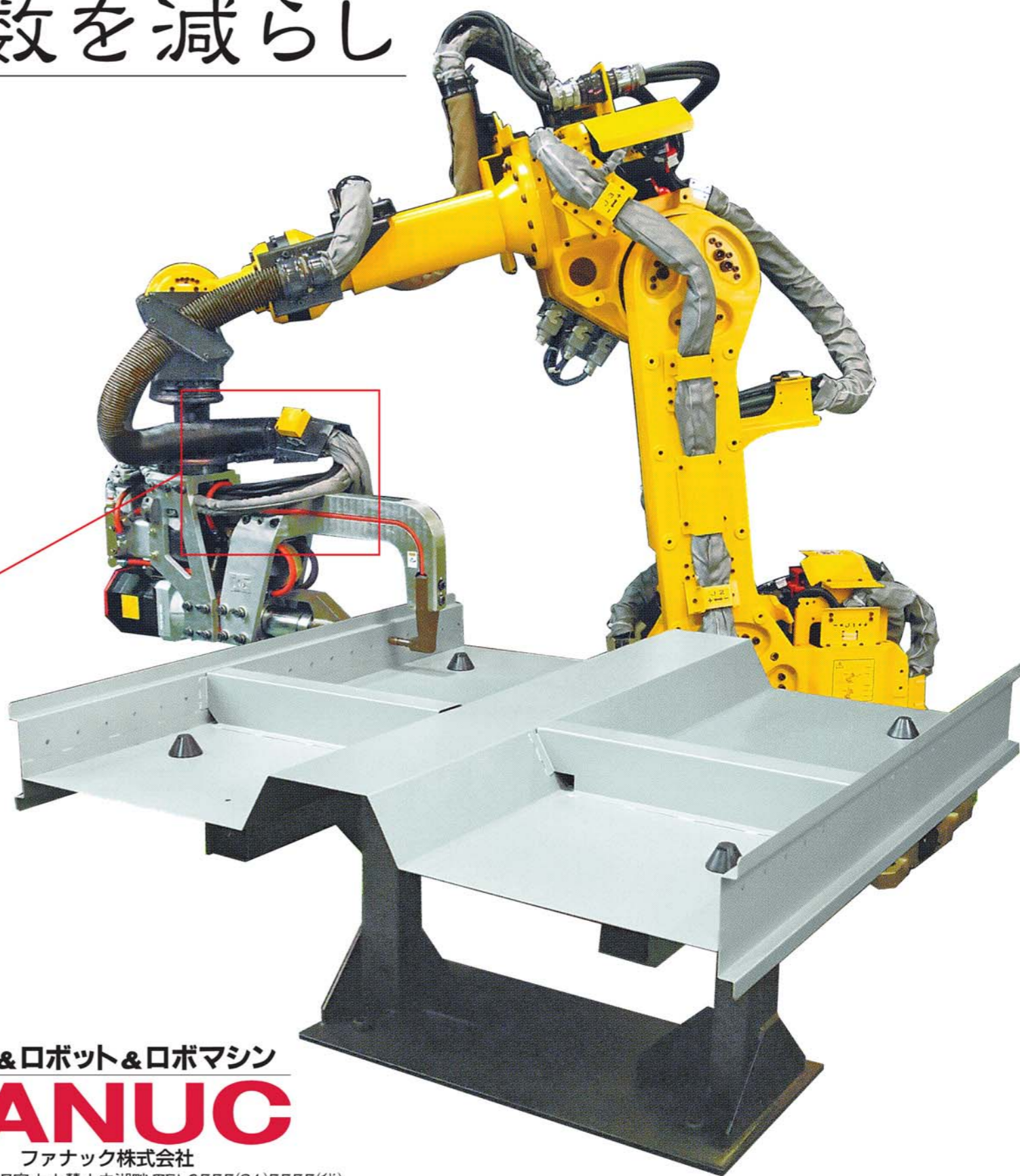
世界経済への先行きに懸念材料は多くあるものの、本展の開催を契機に、今回出展される最新ロボット技術の展示を通してユーザーの設備投資意欲が喚起されるとともに、ロボットの利用分野の拡大と技術開発がさらに加速され、そのことを願っています。

学習ロボットは、台数を減らしコストを下げる。

ファナックの学習ロボットは、振動を抑え、俊敏な動作を実現します。ロボット1台あたりの生産性が約15%高まり、必要となるロボットの台数が減って、システムコストを削減できます。



小型高速スポット溶接ロボット R-1000iA に取付けられた加速度センサ



2011 国際ロボット展に出展

会期：11月9日(水)～11月12日(土)
会場：東京ビッグサイト

FA&ロボット&ロボマシン

FANUC

ファナック株式会社

本社 〒401-0597 富士山麓山中湖畔 TEL.0555(84)5555(代)
http://www.fanuc.co.jp/